

令和6年度 徳島県ふるさと・水と土保全対策懇話会 会議録

- 1 日 時 令和6年3月5日(水) 10時00分から11時45分まで
- 2 場 所 徳島市 徳島グランヴィリオホテル
- 3 出席者
【委員】花本委員、田中委員、板東委員、上家委員、富浦委員、藤本委員
(欠席：住友委員)
【県】 農山漁村振興課長、振興・創生担当2名
- 4 懇話会次第
 - 1)あいさつ
 - 2)自己紹介
 - 3)協議内容
 - ①ふるさと水と土保全対策及び棚田地域等保全対策の概要について
 - ②令和6年度の事業経過について
 - ③令和7年度の事業計画について
 - ④意見交換
 - ⑤その他
- 5 会議録(事務局説明の後、花本委員の進行による意見交換の内容を記録)

委員 「ふるさと水と土指導員(以下、「指導員」という。)は、各地域で活動しているが、指導員間の横連携はあるのか。」

県 「指導員研修会において情報交換会を実施するなど、指導員の横連携を図っている。」

委員 「指導員の活動状況を見ることは重要と思う。現地視察を実施しているのか。」

県 「今年度、指導員の活動状況を見せていただき、ご意見やご要望をお聞きした。今後、いただいたご意見等を事業に反映したいと考えている。」

委員 「指導員活動の課題や状況を把握できるので、現場に行くことが大事である。現在、活動している指導員を支えていくべきだし、活動していない指導員も、活動している指導員の状況を見ることにより、活動の底上げにつながると思う。来年度の予算はどうなっているのか。」

県 「来年度、指導員に係る補助事業として250万円を計上している。」

委員 「しっかりと予算を確保し、指導員の活動を支援してほしい。」

県 「指導員に係る予算は、来年度以降も、しっかりと確保していきたいと考えている。また、長期間にわたり本事業を実施しているが補助金の額が変わっていない。物価高騰で活動が厳しいと思われるので、支援金額の見直しを考えていきたい。」

委員 「指導員は、本業がある中で、このような取り組みをしているのはすごいと思う。SNSでは、各指導員がそれぞれ発信している状況である。予算があるなら、プロとして広報している方もいるので、SNSによる発信を仕事としている方をお願いしたら、若者に届くのではないか。発信することで、この人がやっているなら、私もできるのではないか、となる。活動の底上げもでき、指導員の横のつながりもできるのではないか。」

県 「SNSについて、県はインスタグラムをやっており、見せていただいた指導員の活動状況を掲載した。指導員にはご高齢の方もおり、SNSの情報発信・活用まで至っていない方もいる。指導員の皆さんをSNSでつなぐことはとても良いアイデアであり、どう実現していくのか考えたい。SNSの委託業者に委託することで、各指導員の取り組みを活性化したい。SNSをしている方がいれば、フォローすることにつながっていく。来年度の課題として検討してみたい。」

委員 「情報の共有や発信が重要と感じている。写真や文言など、広報方法を工夫すれば、いろんな方に届くと思う。SNSの活用、指導員の横連携など、いい方向に進んでいるので、広報コンテンツを増やせたら良いと思う。例えば、活動している方へのインタビューを掲載したり、活動している方から、写真や記事を書いてもらうのはどうか。事務局が書いた記事だと実態がわからないかもしれない。もう少し生の声が伝わる方法やデザインができれば、いろんなことが変わり、さらに事業が動き出すのかなと感じた。」

県 「ホームページに活動状況が載っているが、事務局が聞いた内容である。活動している方の本人目線による内容が大事かなと思った。

広報のコンテンツを増やすことは魅力的と思うが、当課はインスタグラムのみである。ほかに良いコンテンツはないのか、どこまで手を広げるのが良いのかと思う。」

委員 「媒体を広げるより、既存の媒体の中で、どういう企画をするのか。活動報告だけでなく、どういう思いでやっているのか、熱意などが伝わるインタビューがあれば面白い。企画の内容が充実すると、もっと有意義な広報になると思う。」

県 「県職員だけでなく、プロの方に記事を書いてもらうなど、インスタグラムの内容

や、いろんな指導員に共有していただけるような記事内容を目指し考えたい。」

委員 「指導員活動の中で、鳥獣被害の話聞く。」

県 「鳥獣対策は、指導員活動の課題となっている。耕作放棄地に種をまくが、苗を食べられ花が咲かなかったとの話を聞いた。鳥獣被害対策について、担当課に相談するとともに、連携をとり、いい対策があれば周知したい。」

委員 「とくしま農山漁村（ふるさと）応援し隊事業で、協働パートナーが92団体あるとのことだが、パンフレットに団体名が記載されていない。団体名を掲載し、企業等のアピールをしたら、喜んでくれるのではないか。」

県 「パンフレットに協働パートナー名を載せるようにしたい。県は、活動状況をホームページに掲載するとともに、ミニコミ誌に活動を載せてもらっている。もっといろいろなところでPRしていきたい。」